

自分たちのすんでいるところを きれいにしよう

< 4・5 歳児 >

目的 ゴミ拾いを通して、身近な生活や自然に関心をもつ。
正しいことよくないことに気づき、人の役に立つ喜びを感じる。

< 気づく >

園庭のゴミをひろおう

- ・ みんなでゴミをたくさん集めよう

身近に落ちているゴミに関心をもち拾おうとする。
みんなで拾ったあとのきれいになることを実感する。

【留意点】

園児一人ひとりが袋やバケツを持つことで目的をはっきりさせ、すすんでゴミを拾おうとする姿を認めていく。
燃えるゴミ、燃えないゴミなどを日常的に分別して捨てられるようにゴミ箱を決まった位置に置いておく。
ゴミを拾った後に、みんなで園庭を眺め、きれいになったことを意識できるようにする。

園庭のゴミ拾い

遊んだ後の片づけ

ゴミの分別



< 広げる深める >

いろんな道具を使って園周辺をそうじしよう

- ・ きれいになると気持ちがいいね

いろいろな道具に興味を持ち試してみることで掃除することへの関心を高める。
園内だけでなく、周辺も美しくすることで役立つ喜びを感じる。

【留意点】

「石はこのバケツ」「落ち葉はこの袋」など仕分けをしながら、友だちと力を合わせて美しくなった喜びが感じられるようにしていく。
園周辺にも出かけていき、地域の方々から声をかけてもらうことで、役に立つ喜びが感じられるようにする。

< 道具 >

熊手
軍手
ほうき
はさみ
ゴミ袋
ちりとり
バケツ

< 場所 >

園周辺の道路
公園や空き地
公共施設など

< 計画し、実践する >

いろんなときにそうじをしよう

- ・ 運動会などの行事の前にしよう
- ・ お家の人といっしょにしよう
- ・ 登降園の途中にゴミを拾おう

ゴミを捨てることはいけないことだと感じる。
どんなときに掃除すればいいのか、どんな方法とするのかを考え、人や社会に役立つ喜びを感じる。

【留意点】

いろいろな種類の道具を用意しておき、幼児自らが選んで使えるようにしておく。
友だちといっしょに力を合わせて取り組めるよう道具の数を限定しておく。
幼児の姿を通して保護者の意識も高まるよう、園の活動を具体的に伝えたり、幼児といっしょに掃除をする機会を設ける。

地域への発信

< 園児と作るポスター >
「ゴミを捨てないでください」

保護者への発信

< 園通信 >
「園での幼児の活動紹介」
「登降園途中のゴミ拾い」
「家庭での幼児の様子」など

保護者向けアンケート